

2023（令和5）年度

第7期鹿追町総合計画重点プロジェクト評価調書



ジオパークの町 鹿追町



とがち鹿追ジオパーク



第7期鹿追町総合計画重点プロジェクト 前期評価総括表

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値	目標値	目標年実績値	目標達成率(上段)				前期総合評価	前期総括	総合計画ページ	担当課
				2018年度	2023年度	2023年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度				
1.「その先へ」プロジェクト														
1	子育て支援	子育て世代の包括的支援	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合 (%)	98	100	82	96%	92%	96%	82%	A	計画通り、子育て世代包括支援センターの設置やその後の周知を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてからは、親同士が繋がりを持てるような交流会や産後ケア等の相談の機会を増やした。2023年度は「この地域で子育てしたいと思う保護者の割合」が若干減ったが、事業全体としては順調に進めることができた。	40	保健福祉課
			子育て世代包括支援センターを知っている妊婦の割合 (%)	42.3 (2021年度)	50	41.6	-	-	86%	83%				
2	学校教育	自然体験留学制度の充実	留学制度による親子留学者数 (人)	5	10	8	160%	260%	110%	80%	A	地域住民あつての受け入れであることから、地域での受け入れ可能数の調査や、学校や地域の理解・協力を得ること、新たに留学センターを建築することに伴う今後の留学制度についての地域の合意形成に取り組んできた。事業全体としても順調に進めることができた。	48	瓜幕支所
			留連協事業部による各種自然体験事業数 (事業)	6 (2021年度)	7	7	-	-	100%	100%				
3	農業 (経営・基盤整備)	農業基盤整備事業の推進	国営・道営事業による農業基盤整備事業実施地区数 (地区)	5	4	4	100%	100%	100%	100%	A	計画通りに農業基盤整備事業を実施し、事業全体として順調に進めることができた。	70	農業振興課
			多面的機能支払交付金執行率 (%)	100	100	100	100%	100%	100%	100%				
4	農業 (持続可能な農業)	バイオガスプラントの有効活用・推進	家畜排せつ物等のバイオマス資源の年間活用量 (t)	152,500	181,000	173,563	101%	97%	101%	96%	A	計画通りに家畜排せつ物等をバイオマス資源として有効活用することができ、プラントの安定稼働を図ることができた。未整備地区のバイオガスプラントについては、マスタープランを策定し、建設場所や建設事業費等、課題について検討・協議を重ねている。また、バイオガスエネルギーのさらなる有効活用を図るため、民間事業者等と連携し、新たなエネルギー利用に向けた調査研究を行っている。	76	農業振興課
			メタン発酵過程で生産されるエネルギー (m3)	4,994,000 (2021年度)	5,200,000	5,029,646	-	-	98%	97%				
5	商工業	町内企業への支援	町内商工業事業者数 (商工会員数) (事業者)	169	165	154	99%	90%	96%	93%	A	新型コロナウイルス感染症により外出自粛等で消費機会が制限されたことで大きな影響を受け、事業継続が困難な状況が続いた。また、事業者の高齢化によりキャッシュレス化等の市場変化への対応が難しいなどの課題に対して、資金支援や相談支援といった各種支援策を継続的に実施したことで、商工業事業者の減少を抑制し、地域経済の安定に寄与することができた。	82	商工観光課
			経営相談・巡回指導件数 (件)	617 (2021年度)	630	754	-	-	99%	119%				

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値	目標値	目標年実績値	目標達成率(上段) 評価(下段)				前期 総合評価	前期総括	総合計画 ページ	担当課
				2018年度	2023年度	2023年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度				
6	観光	国立公園エリア施設の活用推進および誘客施策の展開	観光客入込数(人)	742,000	872,000	659,400	76%	72%	78%	76%	B	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光客、特にインバウンド旅行者が大きく減少したが、飲食店の割引クーポンや宿泊助成等の支援事業を実施するなどにより、一定程度の人の流れを作り出すことができた。然別湖畔を活用した小規模イベントを定期的で開催するなど、湖畔及び鹿追町内の観光客の増加を目指してきたが、感染症の影響が落ち着いてからも、観光客数を最盛期まで回復することができなかった。	86	商工観光課
						C	C	C	C					
			自然公園利用者数(人)	45,282 (2021年度)	90,000	75,566	-	-	136%	84%				
						-	-	A	A					
7	エネルギー	新たな再生可能エネルギーの有効活用	再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量(t/年)	0	363	203	88%	83%	69%	56%	B	計画通りに自営線ネットワークを整備し、太陽光や地中熱といった再生可能エネルギーの有効活用のために適切な運用・管理によりCO2の排出削減に努めた。視察については、申し込みのあったものは全て対応し、本町の取り組みとしてPRすることができた。	90	企画課
						A	A	B	C					
			自営線ネットワークに係る視察件数(件)	10 (2021年度)	40 (累計)	56 (累計)	-	-	135%	140%				
						-	-	A	A					
8	情報通信	光回線など高速通信に関する調査検討及び整備促進	光回線など、高速通信網整備の事業着手(事業着手前を0・着手(将来目標)を1)	0	1	-	100%	100%	100%	100%	A	当初の計画では、2023年度時点における「事業着手」をゴールとしていたが、新型コロナウイルス感染症対応地地方創生臨時交付金を活用し、2021年度に整備完了した。また、高齢者を中心としたデジタル弱者に対し、計画通りにスマホ教室を開催することができ、高速通信網を生かした便利な日常生活を促進することができた。	118	企画課
						A	A	Z	Z					
			スマホ教室開催数(回)	5 (2021年度)	20 (累計)	19 (累計)	-	-	70%	95%				
						-	-	B	A					
9	財政運営	行財政改革の推進	行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額(千円)	0	△500,000 (累計)	△392,592 (累計)		57%	81%	79%	C	行財政大綱を策定し行財政改革の方針を定め、職員が一丸となり、目標の8割程度の経費削減に取り組むことができた。新しい財源の確保のために目標設定した企業版ふるさと納税の寄付額は、「ほっかいどう応援セミナー」等のPRの場でプレゼンテーションを行い本町への応援を促したが、目標には届かなかった。	136	総務課
						A	B	A	B					
			企業版ふるさと納税寄附額(千円)	0 (2021年度)	50,000 (累計)	10,800 (累計)	-	-	31%	16%				
						-	-	C	D					

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値	目標値	目標年実績値	目標達成率(上段)				前期総合評価	前期総括	総合計画ページ	担当課
				2018年度	2023年度	2023年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度				

2. 「魅力最大化」プロジェクト

1	ジオパーク	ジオパークの地域住民への浸透	とかち鹿追ジオパークビジターセンター来館者数(人)	3,000	3,300	8,574	62%	69%	95%	260%	A	新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な事業が中止や制限を受ける中、オンラインツール等を活用し、可能な範囲で地域に密着した活動を行った。この4年間で、学術専門員の雇用や保全活動の推進、HPのリニューアル、10周年記念事業、展示施設の改修といったソフト・ハード面の強化を図り、活動の理解者が増えるよう努めた。これらの活動が評価され、2021年にはジオパークの再認定を受けている。2023年、新種鉱物「北海道石」が各種メディアに取り上げられ大きな反響を呼んだ。その結果、ビジターセンター来館者数や講座の受講者数が大幅に増加した。	88	ジオパーク推進課
			講座・7A-等の受講者数(人)	642 (2021年度)	700	1,650	-	-	104%	236%				
2	花、公園	花による美しい街と豊かな景観づくり	花による美しい街と豊かな景観づくり推進の達成度(%)	97	100	88	88%	83%	91%	88%	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受け予定していたイベント事業等が中止となったが、花苗等は問題なく生育し、道路や公共施設の植栽、立体トピアリーの設置等、予定通り実施することができた。4年間継続して花による景観づくりを進めることができた。フラワーマスターの会員数は、なんとか現状維持したいところだが、新たな入会もなく、少しずつ減ってきている実情にある。	94	建設水道課
			フラワーマスター会員数(人)	60 (2021年度)	68	54	-	-	84%	79%				
3	農業(安心・安全な農業)	消費者ニーズにかなった体制の確立	十勝型GAPの取組者数(戸)	105	110	114	107%	104%	104%	104%	A	計画通りにクリーン農業や環境保全型農業の取り組みを推進し、事業全体として順調に進めることができた。	74	農業振興課
			環境保全型農業取組者(戸)	24 (2021年度)	25	23	-	-	92%	92%				
4	農業(安心・安全な農業)	安心・安全な農畜産物の需要拡大	各種イベント等における農畜産物需要拡大PR・普及活動の回数(回)	5	10	6	57%	63%	67%	60%	B	新型コロナウイルス感染症の影響を受け町内の各種イベントが中止になり、農畜産物の需要拡大のPRをする機会が減ってしまったが、需要拡大セールを開催するなど既存のイベント以外で、感染症を機に学校給食での消費やホテル等での需要が減ってしまった牛乳の消費拡大にも取り組み、消費者に選んでもらえるようPRすることができた。感染症の影響が落ち着いてからも、目標回数まではいかなかったが、一定回数のイベント等での農畜産物需要拡大PRを実施した。	74	農業振興課
			乳製品消費拡大PR回数(回)	0 (2021年度)	12	14	-	-	70%	117%				
5	学校教育	国際理解を学ぶ英語教育の充実	鹿追高校での英検2級取得者数(人)	5	10	7	100%	100%	56%	70%	B	新型コロナウイルス感染症の影響を受けカナダ短期留学が中止になるなど、実践的な英語教育の機会が減ってしまっていたが、低学年時からのストニブレインとの交流や英検受験の費用助成などにより、積極的に英検能力を向上させる雰囲気醸成されている。英検2級を取得する鹿追高校生も毎年一定数おり、着実に英語力を向上させることができた。	48	学校教育課
			町内小中学生全生徒の英検受験率(%)	44 (2021年度)	50	43	-	-	104%	86%				
6	学校教育	幼小中高一貫教育による深い学びの実践	町内中学生の鹿追高校への進学率(%)	58	70	41	64%	79%	83%	58%	B	2023年度の鹿追高校への進学率は下がったが、町内の小中学生に対し継続して鹿追高校の学習内容や魅力的な教育活動を伝えることで、徐々に鹿追高校への進学率を上昇させることができた。また、教育課程の検証・改善のために各学校で学校評価を実施し、教育力の向上に努めた。	50	学校教育課
			各学校での学校評価の実施回数(回)	2 (2021年度)	2	2	-	-	100%	100%				

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値	目標値	目標年実績値	目標達成率(上段) 評価(下段)				前期 総合評価	前期総括	総合計画 ページ	担当課
				2018年度	2023年度	2023年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度				
7	コミュニティ	広報広聴活動の拡充	ふれあいトークへの参加人数(人)	0	300	46	42%	10%	22%	15%	C	新型コロナウイルス感染症の影響によって、予定していたカフェトークや出前トークの開催を見合わせ、少ない回数の開催となったため、目標としていた人数に参加していただくことはできなかった。 対面ではなくオンラインを活用した情報発信としては、鹿追お知らせメールの登録件数が目標より多くの登録をいただき、本サービスの利便性が町民に浸透したと考えられる。	124	企画課
			鹿追お知らせメール登録件数(件)	1,328 (2021年度)	1,500	1,933	-	-	119%	129%				
						-	-	A	A					
8	コミュニティ	住民自治組織の育成	行政区支援事業への参加件数(件)	24	35	10	32%	29%	27%	29%	C	新型コロナウイルス感染症の影響によって行政区活動を自粛する中では、行政区支援事業の申請件数も減ってしまい、行政区から目標としていた件数の申請はなかった。時代とともに希薄になりつつある行政区活動の活性化やあり方を考えるために取り組んだ職員による出前講座は、一定回数開催することができ、その場において行政区支援事業についても周知し、行政区内のつながりを維持できるよう働きかけた。	124	企画課
			職員等による出前講座、勉強会などの開催回数(回)	14 (2021年度)	20	13	-	-	93%	65%				
						-	-	A	B					
9	行政運営	他市町村との情報共有など広域行政の連携強化	十勝管内の観光入込み客数(延べ人数)(万人)	1,033	1,046	1,029	98%	68%	68%	98%	B	この4年間で定住自立圏共生ビジョンや、新たに広域による公共交通計画が策定され、広域連携の推進が図られた。本町が主体的に実施する事業ではないが、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ十勝管内の観光客数を回復させることができた。	134	企画課
			十勝管内バス乗客数(万人)	459	464	355	97%	70%	71%	76%				
						B	B	B	B					

評価	全24のうち、各評価の数	割合	評価基準
A	9	37.5%	(目標に向けて)非常に効果があった
B	9	37.5%	(目標に向けて)概ね効果があった
C	6	25.0%	どちらとも言えない
D	0	0.0%	(目標に向けて)あまり効果的ではなかった
E	0	0.0%	(目標に向けて)効果的ではなかった

1.「その先へ」プロジェクト	9
2.「魅力最大化」プロジェクト	6
3.「つながり」プロジェクト	9
計	24

	前期総括
1.「その先へ」プロジェクト	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、概ね計画通りに進めることができた。特に打撃の大きかった観光分野では、新たな支援策を講じ、一定の効果を出すことができた。
2.「魅力最大化」プロジェクト	新型コロナウイルス感染症の影響を受け予定していた事業やイベントが中止になっても、オンラインでの対応や違う形の支援を実施し、感染症の影響を抑えられるように取り組むことができた。
3.「つながり」プロジェクト	新型コロナウイルス感染症の影響を受け目標値に届かなかった施策が多く、感染自体が落ち着いてからも感染症の影響が尾を引き、活動が停滞するものもあった。
重点プロジェクト全体	前期4年間は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた期間となった。活動を自粛しなければならない中、新たにオンラインで取り組む方法や、感染症による影響を受けた事業者や業界、町民の方への支援を模索し、感染症拡大が起こる前には取り組んでいなかった方法が浸透した4年間にもなった。特にオンライン化が進んだことは、今後急速に進むデジタル化に対応するための基盤整備にもつながり、まちづくりの重要な施策の1つとなった。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係	保健福祉課 健康推進係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	子育て世代の包括的支援
	施策の概要	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、子育て世代包括支援センターを設置し、きめ細やかな相談体制を整えるとともに、総合的な支援体制の構築を図る。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合	100%	98%	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合
施策と指標の関連性	子育て世代への総合的な支援体制を構築し、支援体制への満足度を向上させたいため、この指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	7,324	6,585	5,959	98	94	A	96%	子育て世代包括支援センター設置
2021	4,500	-	-	98	90	A	92%	子育て世代包括支援センターについて広く周知
2022	4,500	-	-	100	96	A	96%	親同士がつながれるような支援・サービスについての充実
2023	4,500	-	-	100	82	A	82%	手厚い支援が必要な親子への支援の充実
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
育児困難感を抱えている親子へのサポート体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、個別支援会議やケース検討会の実施。 子育て交流会を継続して実施し、より有益な内容で実施できるよう検討。 子育てアンケートでの内容を分析し、ニーズに応じた支援内容を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉課 子育て支援課 教育委員会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		連携会議	子育て交流会		連携会議		子育て交流会	連携会議			子育て交流会

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	乳幼児健診時のアンケート	母子での交流の機会や産後ケア等相談の機会を増やすなど、子育てに関する事業を充実させているが、地域の子育て環境への満足度は減少している。子育て世帯のニーズを更に把握していき、子育て環境を整えていきたい。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
子育て支援に関して、満足している方の割合が減少している。子育て世帯のニーズは多岐にわたるため、町民の方の声を聞いていくとともに、サポート体制の充実を図る。	子育てに関するアンケート内容を検討し、子育て世帯のニーズを分析していく。そのニーズに応じて関係機関で検討していく。	引き続き、乳幼児健診時や出産・子育て支援給付金でのアンケートで把握していく。更に詳細な部分についてもアンケートや実際の面談場面でも確認していく。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係	保健福祉課 健康推進係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	子育て世代の包括的支援
	施策の概要	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、子育て世代包括支援センターを設置し、きめ細やかな相談体制を整えるとともに、総合的な支援体制の構築を図る。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	子育て世代包括支援センターを知っている妊婦の割合	50%	42.3%	母子健康手帳交付時の段階で確認
施策と指標の関連性	早い段階から相談場所を知っていることで、心配事に対して早期に対応できることにつながるため、この指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	-	-	-	50	43.0	A	86%	若い世代への子育てに関する相談場所への周知
2023	-	-	-	50	41.6	A	83%	子ども家庭センターについて設置検討
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
子ども家庭センター設置にあたり、より町民が相談しやすい体制について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭センター設置について、関係する機関で検討する。 女性の健康や不妊、子育てに関する相談窓口の周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉課 子育て支援課 教育委員会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		子ども家庭センターの検討									相談窓口の周知

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	母子健康手帳交付時アンケート	相談窓口の周知については、高校生の健康教育やアプリなどで周知を図った。目標の達成度としては8割を超えているためAとしたが、認知度としては減少している。また、相談窓口の名称も変更になるため、更に相談窓口を周知していく必要がある。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2024年度より、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点が統合し、子ども家庭センターとなるため、更に周知を図る。	周知については、今まで以上に幅広い世代に向けても周知を図る。	相談窓口について、母子手帳交付時のアンケートで認知度を計るとともに、個々の支援から町民の方が困らずに相談できていたか、早期に対応できていたかなどケースの状況で把握していく。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	瓜幕支所 地域振興係
-------	------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	自然体験留学制度の充実
	施策の概要	他地域からの児童や生徒を受け入れることで、異なる考え方や文化を学びより多様な人間関係を築くことで他者への理解を促進する教育を進めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	親子留学者数	10人	5人	留学制度による親子留学者数
施策と指標の関連性	他者への理解を促進する教育のために受け入れている、他地域からの児童や生徒の数を指数とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	17,000	16,957	16,274	5	8	B	160%	地域での受け入れ可能数の現況調査
2021	17,000	16,896	15,696	5	13	B	260%	留学制度再設計の検討
2022	17,000	16,753	15,201	10	11	A	110%	留学制度受け入れ体制（居住環境整備）の構築
2023	17,000	15,655	15,100	10	8	A	80%	留学制度受入れ体制の充実
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
今後の留学制度について、現状を踏まえての制度の再設計	<ul style="list-style-type: none"> 地域での受け入れ可能数の現況調査 地域と学校への留学制度の理解を促す 	<ul style="list-style-type: none"> 瓜幕自然体験留学制度推進連絡協議会 教育委員会 町長及び副町長 瓜幕支所 企画課（移住） 建設水道課（公住） 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			現況調査								

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	留学者受入実績	親子留学制度を利用せずに親子で移住する方もいることから、数字以上に実際は親子留学者がいる。それでも目標達成率が80%なのでAとする。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Do の変更点 (スケジュールなど)	Check の変更点 (チェックの体制・方法など)
公営住宅ではなくて、空き家や土地を探して家を建てるニーズもあることから、公営住宅以外にも現況調査を実施する。	年間を通して情報収集を実施する。	実績値の把握について、これまで通りで問題ないことから、2023年度と同様とする。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	瓜幕支所 地域振興係
-------	------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	自然体験留学制度の充実
	施策の概要	他地域からの児童や生徒を受け入れることで、異なる考え方や文化を学びより多様な人間関係を築くことで他者への理解を促進する教育を進めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	自然体験事業	7事業	6事業	留連協事業部による各種自然体験
施策と指標の関連性	交流や地域の活性化を目指し留連協事業部が実施する、地域の子どもや大人も含めた魅力的な自然体験事業の事業数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	17,000	16,753	15,201	7	7	A	100%	・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
2023	17,000	15,655	15,100	7	7	A	100%	・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・そば打ち体験・冬の活動・中学校スキー体験
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	事業	事業			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
留学生にとっても地元の子にとっても魅力的な事業を計画・検討・実施していく	山菜採集体験、サマーキャンプinうりまく、ナイトクルーズ星座観察体験、農業体験、熱気球体験、冬の体験活動、スキー・スノーボード体験	・瓜幕自然体験留学制度推進連絡協議会 事業部	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討	実施 (山菜)	検討	検討・実施 (サマ キャン)	検討	検討・実施 (星 座)	検討・実施 (農 業・熱 気球)		検討	検討	実施 (冬の 体験)	実施 (ス キー)

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	自然体験事業数と内容	事業部全体で内容やスケジュールを確認しながら事業を実施することができた。目標を達成することができたのでAとする。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Do の変更点 (スケジュールなど)	Check の変更点 (チェックの体制・方法など)
学校の働き方改革により、事業部の先生方の関わりを減らし、留学センター職員の関わりを増やしていくことが必要となる見込み。	農業体験は、酪農系と畑作系を交互に実施していたので、2024年度は酪農体験とする予定。	実績値の把握について、これまで通りで問題ないことから、2023年度と同様とする。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課・耕地整備係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	農業基盤整備事業の推進
	施策の概要	農村景観や環境保全に配慮した国営・道営事業等による農業基盤整備事業を計画的に実施

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	事業実施地区数	4地区	5地区	国営・道営事業による農業基盤整備事業事業実施地区数
施策と指標の関連性	施策として行う農業基盤整備事業を実施した数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	500,000	320,000	216,000	5	5	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜霧地区 ・道営担い手畑継事業 東瓜霧地区 ・道営担い手畑継事業 北瓜霧地区 ・道営草地畜産基盤整備事業 上幌内地区
2021	500,000	298,200	240,186	4	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜霧地区 ・道営担い手畑継事業 東瓜霧地区 ・道営担い手畑継事業 北瓜霧地区
2022	300,000	315,000	224,800	3	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜霧地区 ・道営担い手畑継事業 東瓜霧地区 ・道営担い手畑継事業 美蔓高台地区
2023	300,000	290,000	150,500	4	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 ・道営担い手畑継事業 東瓜霧地区 ・道営担い手畑継事業 美蔓高台地区 ・道営担い手畑継事業 笹川地区
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	地区	地区			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
農業農村整備事業の計画的な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・国営かんがい排水事業 笹川地区 ・道営担い手畑継事業 東瓜霧地区 ・道営担い手畑継事業 美蔓高台地区 ・道営担い手畑継事業 笹川地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興課 ・農業関係機関 ・町民 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入札	調査及び工事実施										

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事業実績	全体的に当初スケジュールを変更することなく、事業計画とおり整備が進んでいる。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
当初の事業計画通り整備が進んでおり、変更点はないが、地域要望に応じて引き続き事業実施について検討する。	変更点はないが、悪天候や社会情勢等による変更が生じた場合は、関係受益者と調整を図る。	関係機関と連携し、受益者と調整を図りながら円滑に整備を進める。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課・耕地整備係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	農業基盤整備事業の推進
	施策の概要	農村景観や環境保全に配慮した国営・道営事業等による農業基盤整備事業を計画的に実施

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	交付金執行率	100%	100%	多面的機能支交付金執行率
施策と指標の関連性	環境保全活動として実施している多面的機能支交付金事業の執行率を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	100,000	101,405	101,369	100	100	A	100%	多面的機能支交付金事業（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
2021	100,000	101,369	101,342	100	100	A	100%	多面的機能支交付金事業（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
2022	100,000	101,342	101,323	100	100	A	100%	多面的機能支交付金事業（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
2023	100,000	101,323	101,323	100	100	A	100%	多面的機能支交付金事業費（地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など）
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
環境保全活動を継続的に実施	・多面的機能支交付金事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興課 ・農業関係機関 ・町民 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
多面的機能支交付金事業による環境保全活動											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実績報告書	全体的に当初スケジュールを変更することなく、事業計画とおり活動が実施されており、本事業に対する理解や評価も良い。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
当初の事業計画通り活動が実施されており、変更点はないが、引き続き本事業を計画的に実施する。	変更点はないが、悪天候や地域情勢等による変更が生じた場合は、活動組織と調整を図る。	実績報告書等により実施状況を確認し、指導・助言を行う。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 環境保全センター係
-------	-----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	バイオガスプラントの有効活用・推進
	施策の概要	家畜ふん尿処理施設であるバイオガスプラントのさらなる有効活用を推進するとともに未整備地区の整備を推進します。さらにF I T終了後を見据え、バイオガスエネルギーの有効活用を推進するため、水素燃料や熱利用等についての調査・研究を実施します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	バイオマス資源の年間活用量	181,000 t	152,500t	家畜排せつ物等のバイオマス資源の年間活用量
施策と指標の関連性	バイオガスプラントの有効活用を図る上で原料の安定確保が重要であるため、この指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	300,000	448,177	287,161	160,000	161,534	A	101%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。マスタープランの策定。
2021	300,000	285,593	284,316	167,500	161,652	A	97%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2022	300,000	343,559	346,076	175,000	176,398	A	101%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2023	300,000	329,292	342,595	181,000	173,563	A	96%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	t	t			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標																										
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制																								
	既存のバイオガスプラントの安定稼働を図るとともにマスタープランに基づいた未整備地区バイオガスプラントの検討	<ul style="list-style-type: none"> 鹿追町環境保全センターの安定稼働 マスタープランに基づく未整備地区バイオガスプラントの検討 しかおい水素ファーム事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 町長、副町長 農業振興課 農業関係機関 																								
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容																										
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																
	<ul style="list-style-type: none"> 鹿追町環境保全センターの安定稼働 未整備地区バイオガスプラントの検討 しかおい水素ファーム事業の推進 																										
Check	「Do」の結果・チェックなど																										
	結果	評価参考基準	実績値の把握方法 ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)																								
	A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	家畜排せつ物等の廃棄物がバイオマス資源として有効活用された。																								
Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など																										
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)																									
既存施設については、老朽化した設備等の更新・修繕を行い、安定的に稼働できる体制を整える。未整備地区へのバイオガスプラントについては、事業費確保のための方策を検討する。	安定稼働を図るため、設備等の更新や修繕の必要性を検討する。未整備地区バイオガスプラントについては、施設規模や事業費等の見直しを検討していく。	施設や設備のトラブルを未然に防止するため、日々のチェック体制を徹底する。																									

2023 (R5) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 環境保全センター係
-------	-----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	バイオガスプラントの有効活用・推進
	施策の概要	家畜ふん尿処理施設であるバイオガスプラントのさらなる有効活用を推進するとともに未整備地区の整備を推進します。さらにF I T終了後を見据え、バイオガスエネルギーの有効活用を推進するため、水素燃料や熱利用等についての調査・研究を実施します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	バイオガス生産量	5,200,000m3	4,994,000m3	メタン発酵過程で生産されるエネルギー
施策と指標の関連性	バイオガスプラントの有効活用を図る上でバイオマスエネルギーの有効活用が重要であるため、この指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	-	-	-	5,200,000	5,105,913	A	98%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2023	-	-	-	5,200,000	5,029,646	A	97%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	m3	m3			

4年見直し

2023 (R5) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
	既存のバイオガスプラントの安定稼働を図るとともにマスタープランに基づいた未整備地区バイオガスプラントの検討	<ul style="list-style-type: none"> 鹿追町環境保全センターの安定稼働 マスタープランに基づく未整備地区バイオガスプラントの検討 しかおい水素ファーム事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 町長、副町長 農業振興課 農業関係機関
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容		
	4月	5月	6月
	7月	8月	9月
	10月	11月	12月
	1月	2月	3月
	<ul style="list-style-type: none"> 鹿追町環境保全センターの安定稼働 未整備地区バイオガスプラントの検討 しかおい水素ファーム事業の推進 		
Check	「Do」の結果・チェックなど		
	結果	評価参考基準	実績値の把握方法
	A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	評価参考基準 実績値の把握方法 ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
			バイオガスによる発電、熱利用、水素利用が推進されている。
Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など		
Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)	
安定的なバイオガス生産を図るため、発酵槽内の温度や硫化水素濃度、VFAの状況を定期的に確認する。	安定的なバイオガス利用を図るため、発電機や水素施設の定期点検を実施する。	季節ごとのバイオガス利用量等のデータを収集し、効率的なバイオガス利用を推進する。	

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 商工労政係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	町内企業への支援
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図る。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	商工業事業者数	165事業者	169事業者	町内商工業事業者数（商工会員数）
施策と指標の関連性	コロナの影響や事業者の高齢化などによる事業継続が厳しい中、事業者の経営、事業の発展を支援する施策により、商工会員数の減少を抑えることを指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	27,990	27,990	34,769	165	164	A	99%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
2021	32,255	39,693	27,372	165	162	A	98%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
2022	32,255	34,010	29,364	165	158	A	96%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
2023	32,255	33,668	35,096	165	154	A	93%	・経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） ・事業資金利子補給事業
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	事業者	事業者			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会による経営改善普及事業等補助事業、商工会一般事業、近代化推進活動事業への補助事業を実施することにより町内事業者への経営支援等を推進する。 ・商工業事業資金利子補給事業により町内事業者の安定的な資金調達等を支援することで経営の安定化を推進する。 	鹿追町 鹿追町商工会	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商工会各種補助										利子補給実施	事業評価委員会

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	商工会の総会議案で確認する。	事業者が抱える課題に対して、経営戦略や事業計画の提案を行い問題点の解決や新たな販売機会の創出や健全な売上増加、利益確保に向けて税務、金融支援について、商工会指導員による、相談や指導、町の利子補給事業もコロナ禍で変更した支援利率を継続して支援を行っているためAとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
変更点はないが、引き続き商工業事業資金利子補給事業により町内事業者の安定的な資金調達等を支援し、国や道の補助金や支援策を商工会と共有し商工会員へ周知していく。	8月に途中経過確認を追加する。	実績値の把握方法について、議案確認だけではなく、商工会への聞き取りによる状況確認を追加する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 商工労政係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	町内企業への支援
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図る。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	経営相談・巡回指導件数	630件	617件	経営相談・巡回指導件数
施策と指標の関連性	コロナや原油高騰による物価上昇などの情勢変化により事業者が受ける影響は多方面にわたる。事業者に寄り添ったきめ細やかな対策、対応が必要となるため、経営相談、巡回指導の件数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	32,225	34,010	29,364	630	629	A	99%	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） 事業資金利子補給事業
2023	32,225	33,668	35,096	630	754	A	119%	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など） 事業資金利子補給事業
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan

関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 商工会による経営改善普及事業、商工会一般事業、近代化推進活動等各事業者への経営支援について、事業所の形態に合わせ、柔軟に対応するため、経営相談等を推進する。 町、道、国と連携し、商工業資金利子補給事業やその他支援制度について、巡回、窓口相談により推進する。 	鹿追町 鹿追町商工会

Do

「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					途中経過確認					実施状況聞き取り・検証	

Check

「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	商工会総会議案で確認	事業者が抱える課題に対して、経営戦略や事業計画の提案を行い問題点の解決や新たな販売機会の創出や健全な売上増加、利益確保に向けて税務、金融支援や労働などについてきめ細かく対応するため、巡回指導、窓口相談を前年度比130%増の754回実施したためAとした。

Action

Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
変更点はないが、引き続き町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化、労働環境整備による人員確保等に取り組む。	途中経過確認を8月と12月の2回確認に増やす。	実績値の把握方法について、議案確認以外に巡回指導シートや窓口相談シートの確認を追加する。

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	国立公園エリア施設の活用推進および誘客施策の展開
	施策の概要	施設の老朽化等への対応、新たな機能の追加、町全体を観光資源と位置付け、エリア毎の課題を整理し包括的に進めます。新たな事業展開により、リピーター造成や滞在時間の延長化へと繋げ、来町のきっかけを提供する誘客事業を推進します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	観光客数（うち外国人数）	872,000人 (7,000人)	742,000人 (4,007人)	観光客入込数 (うち外国人観光客)
施策と指標の関連性	国立公園エリア施設の活用、誘客事業の推進により増加させる観光客入込数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	26,276	26,027	16,903	792,000 (5,000)	598,700 (6)	C	76%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2021	24,523	26,630	25,900	822,000 (6,000)	590,200 (0)	C	72%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2022	24,523	24,223	31,423	842,000 (6,500)	658,500 (3,713)	C	78%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2023	24,523	30,005	37,339	872,000 (7,000)	659,400 (3,012)	C	76%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
withコロナ、afterコロナを見据えた事業により、誘客施策を進める。	夏の伝統イベント「白蛇姫まつり」や冬の北海道を代表するイベント「しかりべつ湖コタン」をはじめ、然別湖畔園地公園を活用した小規模イベントを定期的に実施し、湖畔及び鹿追町内への観光客増加を目指す。	鹿追町 鹿追町観光協会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業計画	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施				イベント実施	イベント実施	検証

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	町内事業者・施設等からの報告される入込数の積み上げによる。	少しずつ観光客が戻りつつあるが、最盛期の観光入込客数には及ばず評価をCとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
感染症の状況を注視しながら事業方針を進める。	国や北海道の各種支援策の情報収集を積極的に行い、観光協会等の関係団体や町内事業者とともに、その時々的情勢に合わせ事業を実施する。	観光客の入込数を目標値・実績値としており問題ないことから前年度同様とする。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	国立公園エリア施設の活用推進および誘客施策の展開
	施策の概要	施設の老朽化等への対応、新たな機能の追加、町全体を観光資源と位置付け、エリア毎の課題を整理し包括的に進めます。新たな事業展開により、リピーター造成や滞在時間の延長化へと繋げ、来町のきっかけを提供する誘客事業を推進します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	自然公園利用者数	90,000人	45,282人	自然公園利用者数
施策と指標の関連性	国立公園エリア施設の活用、誘客事業の推進により増加させる自然公園利用者数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	26,630	25,900	31,423	60,000	81,518	A	136%	・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
2023	24,223	30,005	37,339	90,000	75,566	A	84%	・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan 関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
withコロナ、afterコロナを見据えた事業により、誘客施策を進める。	鹿追町観光協会等の関係団体と連携し、町内で集客につながる様々なイベント等事業を展開し、然別湖等国立公園への誘客を図るとともに、湖畔との往来中に町内飲食、物販等の消費行動へつなぐ機会を増加させる。	鹿追町観光協会

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業計画	イベント実施	検証									

Check 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	自然公園キャンプ場・施設等からの報告される入込数の積み上げによる	近年のキャンプブームなどを理由に目標の8割を達成することができたので評価をAとした。

Action Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
変更点はないが、引き続き観光協会等の関係団体と連携し事業を実施する。	変更点はないが、引き続き観光協会等の関係団体や町内事業者とともに、その時々の情勢に合わせて事業を実施する。	観光客の入込数を目標値・実績値としており問題ないことから前年度同様とする。

担当課・係	企画課企画係 ICT・エネルギー担当
-------	--------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	新たな再生可能エネルギーの有効活用
	施策の概要	自営線のネットワークを整備し、太陽光や地中熱などの新たな再生可能エネルギーの有効活用を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	CO2年間排出削減量	363t/年	—	再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量
施策と指標の関連性	再生可能エネルギーの有効活用の主たる理由がCO2削減（地球温暖化対策）のため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	201,233	200,452	198,005	121	107	A	88%	自営線ネットワーク整備事業完工 本格運用12月頃～
2021	8,021	7,111	6,690	363	303	A	83%	性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
2022	8,021	2,882	2,585	363	251	B	69%	性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
2023	8,021	3,554	3,410	363	203	C	56%	性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	t/年	t/年			

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
自営線ネットワークの適切な運用管理	<ul style="list-style-type: none"> 電気主任技術者による毎日の点検、月次点検、法定年次点検を実施し、適切な運用管理を徹底する。 CEMSから得られる情報を元に省エネルギーを推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 企画課 自営線ネットワーク施設担当課 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適正な運用・管理（地中熱ヒートポンプ注視）											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	CEMS帳票により自動算出（帳票出力）	・地中熱ヒートポンプにかかる電力量が想定を大きく上回り、削減効果を縮小させてしまった。主な原因は熱供給施設の給湯配管の漏水と特定しており、R8.9年度に実施する大規模改修の際に当該配管を更新することで改善を図る予定。 ・目標達成率が6割以下だったため、Cとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
通常管理に加えて、R8.9に実施する大規模改修を想定しながら、関係課と密に情報共有をし、最適化を図っていく。	通常管理に加えて、R8.9に実施する大規模改修を想定しながら、関係課と密に情報共有をし、最適化を図っていく。	電気主任技術者、関係課、施工業者、コンサルと連携を図りながら、効果に対する評価を多角的に行っていく。

担当課・係	企画課企画係 ICT・エネルギー担当
-------	--------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	新たな再生可能エネルギーの有効活用
	施策の概要	自営線のネットワークを整備し、太陽光や地中熱などの新たな再生可能エネルギーの有効活用を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	自営線ネットワークに係る視察受入件数	40件 (累計)	10件	自営線ネットワークに係る視察を積極的に受け入れ、概要、効果等について正確に案内する。
施策と指標の関連性	自営線ネットワークの主たる目的のひとつに「他自治体等への波及（モデル）」を掲げており、視察を受け入れることで波及実績につながると考えたため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	8,021	2,882	2,585	20	27	A	135%	自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
2023	8,021	3,554	3,410	40	56	A	140%	自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

評価総括表

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
自営線ネットワークに係る視察を積極的に受け入れ、概要、効果等について正確にわかりやすく案内する。	主にデジタルサイネージ、西サイト、エネルギー棟をフィールドに、自営線ネットワークの概要、効果、整備するにあたっての留意すべき事項などについて案内。	<ul style="list-style-type: none"> 企画課 自営線ネットワーク施設担当課

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜、視察受け入れ											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	視察記録	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素先行地域を目指す自治体やソーラーウィーク大賞等の受賞により視察が増加した。また、依頼があったものは全て受け入れることができた。 目標達成率が8割以上だったため、Aとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
これまでの方針のとおり、次年度以降も波及促進のために積極的に視察者を受け入れる。	依頼者と日程調整の上、原則全ての視察を受け入れつつ、最新のデータや課題について正確に案内する。また、依頼者のニーズに合わせた柔軟な対応を心掛ける。	引き続き、視察件数等について正確に記録する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課 企画係ICT・エネルギー担当
-------	--------------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	光回線など高速通信に関する調査検討及び整備促進
	施策の概要	他自治体における高速通信網の整備状況と手法及び民間事業者による整備の可能性、国などにおける補助制度の動向など、あらゆる可能性を調査検討し、町内全域の情報通信環境の高度化を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	事業着手	事業着手	—	光回線など、高速通信網整備の事業着手
施策と指標の関連性	施策＝光回線の事業着手が必要なため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	-	0	0	-	事業着手	A	100%	調査検討
2021	-	0	0	-	整備完了	A	100%	調査検討
2022	-	0	0	-	-	Z	100%	調査検討
2023	-	0	0	事業着手	-	Z	100%	光回線など、高速通信網整備の事業着手
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円					

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan		
関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
事業方針	具体的な事業内容	実施体制

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容（主要なもの）
----	--------------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(スケジュール表示領域)											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
Z	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	整備事業者であるNTTとの連携の中で、2022年2月に整備完了を確認。	当初2023年度時点における「事業着手」をゴールとしていたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の有効活用により、2021年度において「整備完了」まで進めることができたためZとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
事業完了	事業完了	事業完了

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係		企画課 企画係ICT・エネルギー担当
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	光回線など高速通信に関する調査検討及び整備促進
	施策の概要	他自治体における高速通信網の整備状況と手法及び民間事業者による整備の可能性、国などにおける補助制度の動向など、あらゆる可能性を調査検討し、町内全域の情報通信環境の高度化を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	スマホ教室開催数	20回 (累計)	5回	通信業者と連携した「スマホよろず相談（教室）」を実施
施策と指標の関連性 高齢者を中心としたデジタル弱者に対して、高速通信網を生かした便利な日常を促進するため。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	10	7	B	70%	高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
2023	0	19	18	20	19	A	95%	高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
2024								
2025								
2026								
2027								
4年見直し								
単位	千円	千円	千円	回	回			

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
事業方針	具体的な事業内容	実施体制	
高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）	誰でも参加可能なスマホ教室を開催し、スマホの活用支援をきめ細やかに行う。	<ul style="list-style-type: none"> 企画課 事業者 	

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容（主要なもの）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜スマホ教室を開催											

Check 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	開催記録	参加申込時や教室の終了時にアンケートをとり、聞き取りした内容を教室で伝えることで、高い参加者満足度を得ることができ、目標回数も達成したため、Aとした。

Action Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
今後も引き続き、きめ細やかに参加者のニーズに応えられる教室を開催する。	文部科学省の補助金を活用して教室を開催したが、その補助金が2023年度で終了する予定のため、新たな実施体制を構築する。	引き続き、係にて正確に記録する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	総務課財政係 行財政改革担当
-------	----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	行財政改革の推進
	施策の概要	持続可能な行財政基盤の確立の為、行財政改革推進本部及び審議会を立ち上げ、補助事業や使用料の見直し・組織機構改革に着手する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	行財政改革の執行額	△500,000千円 (累計)	—	行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額
施策と指標の関連性	行財政改革の推進として、一番大きな重点項目として、経費の削減効果額とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	705	705	0	0	△ 91,499	A	・行財政改革推進審議会委員報酬など	
2021	0	670	539	△ 300,000	△ 172,113	B	57%	・行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
2022	0	0	0	△ 400,000	△ 322,867	A	81%	・行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
2023	0	0	0	△ 500,000	△ 392,592	B	79%	・行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	千円	千円			

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
・2020年度以降の行財政改革の執行に向けて、各種会議体を設置し、財政状況の共有や見直し、役場組織の改革について協議を進める。	・行財政改革推進本部の継続 ・職員によるプロジェクトチームを発足 ・行財政改革大綱の見直し	・町長、副町長 ・各所属長 ・総務課（行革事務局、機構改革事務局） ・町民（団体の代表者、有識者など）	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容（主要なもの）
----	--------------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				推進本部						推進本部	

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	目標で掲げた各種項目の実績数値を抽出	行財政改革推進本部において、新たな財政効果の提案をいただくなど、職員一丸となり目標達成のため取り組んできたところであるが、目標達成率が6割以上だったため、B評価とした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2021年度行財政改革推進審議会を設置し、行財政改革大綱が制定され、大綱が進行中のため変更点はない。	行財政改革大綱が進行中のため、変更なし。	行財政改革大綱が進行中のため、変更なし。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	総務課財政係 行財政改革担当
-------	----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	行財政改革の推進
	施策の概要	持続可能な行財政基盤の確立の為、行財政改革推進本部及び審議会を立ち上げ、補助事業や使用料の見直し・組織機構改革に着手する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	企業版ふるさと納税寄附額	50,000千円 (累計)	0	企業版ふるさと納税の寄附額
施策と指標の関連性 行財政改革の推進により増加させる新たな財源である寄附額を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	20,000	6,100	C	31%	企業版ふるさと納税の募集活動を実施
2023	0	0	0	50,000	10,800	D	22%	企業版ふるさと納税の募集活動を実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	千円	千円			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
	<ul style="list-style-type: none"> 事業に取り組むための資金を得るため、新たな企業から寄附を受ける。 企業との繋がりを広げ、今後連携した取組を行う見込みを得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業へのアプローチ、事業の周知（マッチング会の参加、ポータルサイトの登録） 	全課

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容（主要なもの）
----	--------------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
随時 ・マッチング会参加											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	決算額を抽出	町ホームページ更新や支援サービスの契約を行った。また、「地域脱炭素マッチング会」に出席し、担当課長が町の取組みについてプレゼンテーションを行い本町への応援を促したが、目標達成率が2割以上のため、D評価とした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
企業との繋がりを重視し、現在取り組んでいるワーケーションなどを通して新たな財源確保を務める。	随時、マッチング会などへ参加し、企業との繋がりを行う。また、新たに他のマッチングサービスと契約し、機会拡大を図る。	新たな企業と繋がりができないか全課と連携し模索していく。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		ジオパーク推進課 推進係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	ジオパークの地域住民への浸透
	施策の概要	より多くの町民と共にジオパーク活動を推進するため、教育でのジオパークの活用・地域住民への浸透・自然環境の保護と活用・情報発信の充実に向けた活動を行っている。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	ビジターセンター来館者数	3,300人	3,000人	とちろ鹿追ジオパークビジターセンター来館者数
施策と指標の関連性 指標との関連性は、町内外において、とちろ鹿追ジオパークの認知浸透度を図る上での1つの目安となっている。また、多岐に渡るジオパーク活動事業を実施しており、指標以外での地域住民への周知浸透が図られている。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	9,398	5,509	4,972	3,100	1,933	B	62%	とちろ鹿追ジオパーク推進協議会補助金など
2021	6,605	6,329	5,008	3,200	2,197	B	69%	ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
2022	6,605	4,991	5,615	3,300	3,139	A	95%	ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
2023	6,605	4,199	8,199	3,300	8,574	A	260%	ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
教育でのジオパークの活用・地域住民への浸透・自然環境の保護と活用・情報発信の充実に向けた活動を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の場と連携した出前授業及び授業受入 地域行事でのPRブース出展 ジオパーク講座、セミナー及びツアーなどの実施 ジオパークガイド養成講座の実施 関係機関と連携した保全活動（登山道整備等） 拠点施設の改修及び看板整備 アクションプランの実施 ジオパーク認定10周年記念事業（ジオ絵本カーニバル）の実施 学術調査の実施（継続事業） 	<ul style="list-style-type: none"> 推進協議会（町長、団体代表者など） 推進協議会幹事会 ジオパーク推進課（事務局） 町民（ジオパーク協力店、サポーターなど）

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹事会	協議会総会	講座、ツアー、教育・保全・調査・PR活動等～3月まで			幹事会		幹事会（予算等）			幹事会	ジオパーク記念事業（予定）

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A～Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	来館者記録簿 ・町内 ・管内 ・道内 ・道外に分類	2023年度は、町内で発見された新種鮎物「北海道石」が各種メディアに取り上げられ、大きな反響があり、来館者数の大幅増に繋がった。これにより、ジオパーク活動の意義や価値をこれまで以上に多くの方に伝えることができた。以上のことからA評価とした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
今後は、さらに多くの地域住民に興味・関心を持っていただくために、地域住民の代表者であるとちろ鹿追ジオパーク推進協議会委員・幹事の声を今まで以上に事業方針・内容に盛り込んでいく。	とちろ鹿追ジオパーク推進協議会委員・幹事とのコミュニケーションを密にするため、SNS等のオンラインツールを活用する。	今後、2023年度実績以上の来館者数達成は困難であると予想される。今後は、来館者数以外の関係指数についても検討したい。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	ジオパーク推進課 推進係
-------	--------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	ジオパークの地域住民への浸透
	施策の概要	より多くの町民と共にジオパーク活動を推進するため、教育でのジオパークの活用・地域住民への浸透・自然環境の保護と活用・情報発信の充実に向けた活動を行っている。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	講座・ツアー等の受講者数	700人	642人	とちろ鹿追ジオパーク講座・ツアーなどの受講者数
施策と指標の関連性	指標との関連性は、町内外において、とちろ鹿追ジオパークの認知浸透度を図る上で1つの目安となっている。また、多岐に渡るジオパーク活動事業を実施しており、指標以外での地域住民への周知浸透が図られている。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	6,605	4,991	5,615	700	728	A	104%	ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
2023	6,605	4,199	8,199	700	1,650	A	236%	ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
教育でのジオパークの活用・地域住民への浸透・自然環境の保護と活用・情報発信の充実に向けた活動を行うっていく。	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の場と連携した出前授業及び授業受入 地域行事でのPRブース出展 ジオパーク講座、セミナー及びツアーなどの実施 ジオパークガイド養成講座の実施 関係機関と連携した保全活動（登山道整備等） 拠点施設の改修及び看板整備 アクションプランの実施 ジオパーク認定10周年記念事業（ジオ絵本カーニバル）の実施 学術調査の実施（継続事業） 	<ul style="list-style-type: none"> 推進協議会（町長、団体代表者など） 推進協議会幹事会 ジオパーク推進課（事務局） 町民（ジオパーク協力店、サポーターなど）

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹事会	協議会総会	講座、ツアー、教育・保全・調査・PR活動等～3月まで			幹事会		幹事会（予算等）			幹事会	ジオパーク記念事業（予定）

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	参加者数カウント	2023年度は、10周年記念事業「ジオ絵本カーニバル」の実施により、多くの地域住民へジオパーク活動の意義や価値を伝えることができた。また、北海道石やナキウサギなど、多くの方が関心を持つ事柄を講座内容として扱ったため目標値を超えることができた。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
これまでに積み上げた実績や人脈を糧に、さらに多くの地域住民を巻き込んだ活動へと昇華させるため、ニュースや時勢にあったプログラムを開発し実施していく。	活動実践者・協力者とのコミュニケーションを密にするため、対面の会議以外でもSNSやオンラインツールを活用したコミュニケーションを実施していく。	参加者数のカウントの他に、講座参加者へのアンケート調査等についても検討していく。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		建設水道課 花とみどり係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	花による美しい街と豊かな景観づくり
	施策の概要	鹿追らしい景観を創り出していく上で花の役割は非常に重要であることから道路や小中学校などの公共施設や民有地における景観づくりを進め、観光地としての魅力の向上に努める。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	花によるまちのきれいさ	100%	97%	花による美しい街と豊かな景観づくり推進の達成度
施策と指標の関連性 花による美しい街と豊かな景観づくりの達成度を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	4,000	3,821	3,544	97	85	B	88%	・視察研修等旅費、種子・肥料、公共施設花苗など
2021	4,000	4,174	3,948	98	81	A	83%	・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2022	4,000	3,286	2,664	99	90	A	91%	・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2023	4,000	3,547	2,966	100	88	A	88%	・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
公共施設・民有地等に彩り豊かな花を植栽し、景観づくりを進め、魅力の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地、道路沿線の植栽及び除草 ・公共施設等の植栽 ・立体トピアリーの設置 ・大型プランター・プランターの設置 ・樽型プランターの貸し出し 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設水道課、各課 ・フラワーマスター ・鹿追地区連絡協議会 ・花とみどりの町づくり推進協議会 ・町民（団体・個人）

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
植栽準備	プランター設置・樽貸し出し	花苗植栽	← 花の管理 (水やり・追肥・草抜き等) →			花苗片付	次年度に向けた花壇等整備			← 花苗作り →		

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	独自の指標で数値化し設定した基準値(H25年度)と比較し、当年度の『花によるまちのきれいさ(%)』を求め。	花苗等は順調に生育し、道路・公共施設等への植栽は予定通りに実施。評価については、目標達成率が8割を超えたためAとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2023年度の内容に近づけるような活動目標とし、花による環境美化を図る。	2023年度同等程度の年間計画を組む。	花による美しい街と豊かな景観づくり推進の達成度の把握については、これまで通りで問題ないことから、2023年度と同様に実施する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	建設水道課 花とみどり係
-------	--------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	花による美しい街と豊かな景観づくり
	施策の概要	鹿追らしい景観を創り出していく上で花の役割は非常に重要であることから道路や小中学校などの公共施設や民有地における景観づくりを進め、観光地としての魅力の向上に努める。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	フラワーマスター会員数	68人	60人	公共施設等に植栽等を実施する団体の会員数
施策と指標の関連性	花による美しい街と豊かな景観づくりのために、公共施設等に花を植栽する活動に参加してくれる団体の会員数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	4,000	3,286	2,664	68	57	A	84%	・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2023	4,000	3,547	2,966	68	54	B	79%	・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
公共施設・民有地等に彩り豊かな花を植栽し、景観づくりを進め、魅力の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 市街地、道路沿線の植栽及び除草 公共施設等の植栽 立体トピアリーの設置 	<ul style="list-style-type: none"> フラワーマスター 鹿追地区連絡協議会 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	プランター設置	花苗植栽	← 花の管理 (追肥・草抜き等) →			花苗片付					

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	フラワーマスター会員数	2022年度よりさらに会員が減少し、目標値の8割を下回ったためB評価とした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
引き続きこれまで通り実施する。ただし、会員の高齢化が著しく、会の存続自体が危うい状態であるため、事業内容の検討等が必要である。	引き続きこれまで通り実施する。	公共施設等に植栽等を実施する団体の会員数の把握については、これまで通りで問題ないことから、前年度と同様に実施する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 農政係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	消費者ニーズにかなった体制の確立
	施策の概要	クリーン農業や環境保全型農業の取り組みを推進するとともに農業生産工程管理（GAP）等の取り組みを推進します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	GAP取組者	110戸	105戸	十勝型GAPの取組者数
施策と指標の関連性	指標は畑作農家戸数がベースとなっており、施策内容の十勝型GAPの取得者数や環境保全型農業の取組戸数と関連している。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	107	115	A	107%	十勝型GAPの推進
2021	0	0	0	110	114	A	104%	十勝型GAPの推進
2022	0	0	0	110	114	A	104%	十勝型GAPの推進
2023	0	0	0	110	114	A	104%	十勝型GAPの推進
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	戸	戸			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
2018年度十勝型ギャップに取り組んでいる農家戸数の105戸以上になるように取り組みを推進する。	関係機関と連携して、各種会議等でGAPの必要性を周知し、取組の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興課 営農対策協議会（農産部会） 町民 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							チェック表回収	チェック表回収・集計			

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	畑作組合員名簿（十勝型GAP取組者）	全体的には当初のスケジュール通りに実施することができ、目標達成率が8割以上であったため、Aとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
関係機関と連携して、各種会議等でGAPの必要性を周知し、取組の強化を図ることができたため、2024年度以降も継続して推進する。	概ねスケジュール通りに実施できたため、2024年度以降も継続する。	チェック体制・方法も概ね計画通りに実施できたため、2024年度以降も継続する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 農政係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	消費者ニーズにかなった体制の確立
	施策の概要	クリーン農業や環境保全型農業の取り組みを推進するとともに農業生産工程管理（GAP）等の取り組みを推進します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	環境保全型農業取組者	25戸	24戸	環境保全型農業直接支払交付金事業の取組戸数
施策と指標の関連性	環境保全型農業の取り組みを推進することで増加する、環境保全型農業直接支払交付金事業の取組戸数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	16,052	16,052	18,140	25	23	A	92%	環境保全型農業直接支払交付金事業の推進
2023	16,052	16,052	15,950	25	23	A	92%	環境保全型農業直接支払交付金事業の推進
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	戸	戸			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
2021年度環境保全型農業直接支払交付金事業に取り組んでいる農家戸数の24戸以上になるよう取り組みを推進する。	関係機関と連携して、各種会議等で環境保全型農業の必要性を周知し、取組の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興課 営農対策協議会（農産部会） 鹿追町農地・水・環境保全広域協定 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業内容周知		事業申請受付	事業取組	事業取組	事業取組	交付申請	交付決定				実績報告

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	環境保全型直接支払申請一覧	全体的には当初のスケジュール通りに実施することができ、目標達成率が8割以上であったため、Aとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Do の変更点 (スケジュールなど)	Check の変更点 (チェックの体制・方法など)
関係機関と連携して、各種会議等で環境保全型農業の必要性を周知し、取組の強化を図ることができたため、2024年度以降も継続して目標を立てる。	概ねスケジュール通りに実施できたため、2024年度以降も継続する。	チェック体制・方法も概ね計画通りに実施できたため、2024年度以降も継続する。

担当課・係	農業振興課 畜産係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	安心・安全な農畜産物の需要拡大
	施策の概要	家畜伝染病等疾病対策を推進するとともに安心・安全な高品質の農畜産物の需要がさらに増すと想定される中で基本となる生産力を引き続き高めるため、競争力や地域力を向上させ「消費者に選ばれる農畜産物」の生産を推進する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	需要拡大PR・普及活動数	10回	5回	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の回数
施策と指標の関連性	安心安全な農畜産物の需要がさらに増すよう実施する、各種イベントでのPR回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	1,300	1,700	0	7	4	B	57%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2021	1,300	1,700	1,700	8	5	B	63%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2022	1,300	1,300	1,300	9	6	B	67%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2023	1,300	1,300	1,300	10	6	B	60%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
町内外において、安心・安全な高品質の本町農畜産物の需要拡大PR、普及活動を実施	各種イベント等において、普及・PR活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> 町長、副町長 農業振興課 商工観光課 農業関係機関

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			普及・PR活動								

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	各種イベント等で行った農畜産物需要拡大PRの実績	目標達成率が6割以上であったためBとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
概ね計画通りに実施することができ、変更点はないが、引き続きPR活動を実施する。	変更点はないが、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、引き続き普及・PR活動を実施する。	会議を行う。 (鹿追町農畜産物需要拡大推進協議会幹事会)

2023 (R5) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 畜産係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	安心・安全な農畜産物の需要拡大
	施策の概要	家畜伝染病等疾病対策を推進するとともに安心・安全な高品質の農畜産物の需要がさらに増すと想定される中で基本となる生産力を引き続き高めるため、競争力や地域力を向上させ「消費者に選ばれる農畜産物」の生産を推進する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	乳製品消費拡大PR回数	12回	0回	乳製品消費拡大PR活動の回数
施策と指標の関連性 農畜産物の中でも、乳製品の需要がさらに増すよう実施するPRの回数を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	333	10	7	B	70%	乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
2023	0	0	3,000	12	14	A	117%	乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

4年見直し

2023 (R5) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
	町内において、乳製品のPR、普及活動を実施	毎月第3週において、Aコープで普及・PR活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興課 農業関係機関

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
普及・PR活動											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	乳製品需要拡大	目標達成率が8割以上であったためAとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
期間の変更はあったが、概ね計画通りに実施することができた。引き続きPR活動を実施する。	毎月第3週から12月から3月上旬に変更し、約14週間実施した。そのうえで、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、引続き普及・PR活動を実施する。	会議を行う。 (鹿追町酪農振興会)

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	国際理解を学ぶ英語教育の充実
	施策の概要	世界の多様な文化や価値観を学ぶため、国際的な標準語である英語を学び、より深く国際理解教育が進むように英語教育の充実を図る。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	英検取得者数	10人	5人	鹿追高校での英検2級取得者数
施策と指標の関連性	英語教育を充実させた成果としての技能向上を把握するため、英検合格者数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	5	5	B	100%	英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2021	0	0	0	7	7	A	100%	英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2022	0	0	0	9	5	C	56%	英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2023	0	286	254	10	7	B	70%	英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
一貫教育と姉妹提携都市交流の有用性を利用した英語教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 入学者選抜試験のスケジュールに偏重しない連携型入試の有用性を生かして、中学校3年期での実践的な英語教育方法の開発 低年齢時でのストニブレイン町との交流による国際理解教育の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 町教委（ALT） 各小中学校 鹿追高校 ストニブレイン町 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	ス町との交流による英語教育	ス町との交流による英語教育	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	積極的に英検受験を勧奨し、多くの生徒が受験したことで、目標を設定した学習意欲の向上につながっている。目標達成率が6割以上のためB評価とした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
段階的に目標達成の可能性を確保するため、事業計画を変更せずに継続する。	現行のサイクルにより事業効果を確保していると考えているため、スケジュールの変更は行わない。	取得者数は在校生数に大きく影響を受けるため、実数より割合による検証を検討する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	国際理解を学ぶ英語教育の充実
	施策の概要	世界の多様な文化や価値観を学ぶため、国際的な標準語である英語を学び、より深く国際理解教育が進むように英語教育の充実を図る。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	英検受験率	50%	44%	町内小中学生全生徒の英検の受験率
施策と指標の関連性	英語教育を充実させ、積極的に英語能力の向上を図る雰囲気が醸成されているか把握するため、英検受験率を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	466	466	431	50	52	A	104%	英語検定受験費用の助成を通じて、積極的に英語能力の向上を図る雰囲気を醸成する。
2023	385	385	286	50	43	A	86%	英語検定受験費用の助成を通じて、積極的に英語能力の向上を図る雰囲気を醸成する。
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容		実施体制
児童及び生徒への経済的支援及び指定事業等の活用	<ul style="list-style-type: none"> 英検受験費用の助成 英検ESG,英検IBAの実施 	各学校	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				英検ESGの実施	英検ESGの実施	英検IBAの実施					

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	積極的に英検受験を勧奨し、多くの生徒が受験したことで、目標を設定した学習意欲の向上につながっている。目標達成率が8割以上のためA評価とした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
意欲的な英検受験につなげるため、引き続き受験費用の助成や積極的な受験への勧奨を実施する。	スケジュールや内容については、これまでと同様の方法をもって事業を推進する。	英検受験者の受験率の把握について、これまで通りで問題ないことから、前年度と同様とする。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	幼小中高一貫教育による深い学びの実践
	施策の概要	幼児期から高校まで一貫した教育指針のもと、受験勉強に捉われない深い学びを実践します。さらに鹿追高校を町内教育機関の最高学府と位置付けて、高校の存続とともに教育力向上のために総合的に支援します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	鹿追高校への進学率	70%	58%	町内中学生の鹿追高校への進学率
施策と指標の関連性	一貫した教育実施のために、高校での学習につなげる生徒数の割合を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	70	45	B	64%	研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2021	0	0	0	70	55	B	79%	研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2022	0	0	0	70	58	A	83%	研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2023	0	0	0	70	41	C	58%	研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
	幼小中高一貫教育の効果的な運用の確認と再構築	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決能力を向上させるための授業の研究 小、中、高校相互の乗り入れ授業や交流授業の充実 一貫教育を意識した共通目標の再設定 	<ul style="list-style-type: none"> 町教委 小中学校 鹿追高校 各学校運営協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一貫教育の目標再設定			授業改善等の研究	授業改善等の研究				授業改善等の研究	授業改善等の研究		

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	鹿追高校への入学率は徐々に上昇傾向であったが、2023年度は目標達成率は約6割であった。生徒や保護者に対しては継続的に高校魅力化プランの情報提供を行っている。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
事業方針や内容などに特に変更点はありませんが、新たに制定された教育大綱に基づいて、一貫した探究教育の推進を図る。	オンライン公設塾の活用など、学校以外での中高接続方法の模索する。	入学者を目標とするため結果の把握方法に変更はない。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	幼小中高一貫教育による深い学びの実践
	施策の概要	幼児期から高校まで一貫した教育指針のもと、受験勉強に捉われない深い学びを実践します。さらに鹿追高校を町内教育機関の最高学府と位置付けて、高校の存続とともに教育力向上のために総合的に支援します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	学校評価	2回	2回	各学校での学校評価の実施回数
施策と指標の関連性	深い学びの実現を目指し教育課程の改善のために実施する、各学校での学校評価の回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	80	77	2	2	A	100%	統合型の学校運営協議会での審議により、町内全体を俯瞰した学校評価活動を客観的に行う。
2023	0	80	0	2	2	A	100%	統合型の学校運営協議会での審議により、町内全体を俯瞰した学校評価活動を客観的に行う。
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
教育課程の検証・改善	全ての学校が教育課程のPDCAサイクルマネジメントを確立する。	各学校	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第1回学校評価	検証・改善				第2回学校評価	検証・改善		

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	学校運営協議会の会議を以て、学校の活動目標と学校評価を適切に行なっている。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
変更点はないが、関係指標の達成に向けて具体的な目標の設定を継続し、模索していく。	特段設定したスケジュールで問題なかったため継続し行っていく。実施が難しい場合はスケジュールの見直しを行う。	適切な学校評価を行えているか定期的に見直す。

担当課・係		保健福祉課 包括ケア係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	地域包括ケアシステムの推進
	施策の概要	高齢者等が、いつまでも住み慣れた地域で安心して尊厳ある生活を続けることができるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される仕組みを考える。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	総合相談者数(新規)	500件	357件	地域包括支援センター・居宅介護支援事業所の新規相談件数
施策と指標の関連性 高齢者が在宅生活を継続する方法を共に考える手段のひとつである相談件数を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	24,000	24,915	25,020	350	133	B	38%	地域支援事業費(介護予防・生活支援サービス事業費など)
2021	24,000	25,828	25,504	400	203	B	51%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2022	24,000	28,274	27,682	450	419	A	93%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2023	24,000	29,825	25,279	500	392	B	78%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
<ul style="list-style-type: none"> 地域の支援を必要とする高齢者や家族などの相談を受け付け、適切な機関・制度・サービスにつなげ支援する。 医療機関と居宅に関する介護サービスとの連携を図る。 権利擁護業務の推進に努める。 	介護予防・日常生活支援総合事業、総合相談支援、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、認知症施策の推進、権利擁護業務、在宅医療・介護との連携の推進、生活支援サービス体制の整備、居宅介護支援	<ul style="list-style-type: none"> 各所属長 保健福祉課 社会福祉協議会 医療機関 介護施設 介護サービス事業所 町民 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各種相談・包括的支援事業、一体化事業についての打ち合わせ	各種相談・在宅医療連携事業ヒアリング	各種相談・在宅医療連携事業ヒアリング	各種相談・認知症カフェ開催についての協議	各種相談	各種相談・権利擁護についての町民周知	各種相談・在宅医療介護連携推進会議	各種相談・災害時個別避難計画の策定	各種相談・認知症講演会の開催	各種相談	各種相談	各種相談・生活支援サービスについての評価	各種相談

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括(結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実際の相談件数	2022年度から居宅支援事業所の開設、2023年度から成年後見支援センター開設を社会福祉協議会に業務委託することにより、相談窓口が分散している。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
事業方針については、変更ないが、災害時個別避難計画については2024年度に策定する。	コロナ禍で事業を実施することが難しかった介護支援専門員連絡協議会や認知症カフェを再開することができた。今後も継続して実施する。	包括支援センター業務の推進を図ることで、地域住民に貢献できると考えることから、引き続き、総合相談者数の実績を正確に確認する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	保健福祉課 包括ケア係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	地域包括ケアシステムの推進
	施策の概要	高齢者等が、いつまでも住み慣れた地域で安心して尊厳ある生活を続けることができるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される仕組みを考える。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	医療介護福祉の機関との会議開催数	12回	3回	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
施策と指標の関連性	医療介護福祉の関係機関と連携して町民への支援を考えるために開催する会議の回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	12	6	C	50%	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
2023	0	0	0	12	12	A	100%	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
医療・介護・福祉に係る関係機関との連携を図る。	介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、在宅医療・介護との連携の推進、居宅介護支援、地域ケア会議、担当ケースに係る関係機関との連絡会議等	<ul style="list-style-type: none"> 各所属長 保健福祉課 社会福祉協議会 医療機関 介護施設 介護サービス事業所 町民

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・連絡会議	・連絡会議 ・地域ケア会議	・連絡会議	・連絡会議	・連絡会議	・連絡会議 ・在宅医療介護連携推進会議	・連絡会議	・連絡会議 ・地域ケア会議	・連絡会議	・連絡会議	・連絡会議	・連絡会議 ・在宅医療介護連携推進会議

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	会議の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関と定期的にケース会議を開催し、情報共有できている。 在宅医療連携会議については、関係機関にヒアリングを実施し、会議を開催した。目標を達成できたためAとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2023年度には、連絡会議を、各関係機関と連絡をとり計画通り実施できた。在宅医療連携会議については、事業所へのアンケート調査の実施や集計結果の報告など、内容を変更して実施した。2024年度はアンケート結果を踏まえ、在宅医療の連携についてなど、出てきた課題の解決に向け会議を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 連絡会議の開催(町立病院月1回) 在宅医療連携推進会議は、年1回 地域ケア会議 随時開催 	これまで通りの把握方法で問題ない事から、2023年度と同様とする。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	道の駅しかおい・うりまく、観光協会特産品部会との連携
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅において、町内特産品に関するイベント等を実施するとともに、町外の道の駅との相互連携事業により町内特産品の町外への積極的な発信などを実施する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	道の駅連携イベント実施数	10回	2回	町外道の駅との連携イベントの実施回数
施策と指標の関連性	施策として行う町外の道の駅との相互連携事業の実施回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	1,200	1,200	0	3	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2021	500	500	0	5	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2022	500	500	0	7	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2023	500	300	0	10	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
物産振興を図るため観光協会（特産品部会）と連携した道の駅連携事業に取り組む。	・道の駅しかおい及びうりまくにおいて町内特産品の販売促進を進めるとともに、町外道の駅との相互連携事業を複数回実施する。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい 道の駅うりまく	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光協会 総会					相互 連携 事業		相互 連携 事業				

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	担当係にて確認による。	道の駅芝生広場でのキッチンカーイベントを開催し、町内や近隣町からの観光客誘客に努めた。 町外道の駅との連携事業については実施を見送ったことから評価をYとし、2024年度以降に実施したい。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Do の変更点 (スケジュールなど)	Check の変更点 (チェックの体制・方法など)
道の駅では観光客のみならず町民にも楽しんでいただける事業として検討したものであり、2023年度の事業方針で継続して進める。	感染症の状況を鑑みて、4年続けて事業を見送っていることから、実施回数、実施日程の変更を検討したい。	実施回数を目録値・実績値としており問題がないことから2023年度同様とする。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	道の駅しかおい・うりまく、観光協会特産品部会との連携
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅において、町内特産品に関するイベント等を実施するとともに、町外の道の駅との相互連携事業により町内特産品の町外への積極的な発信などを実施する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	道の駅入込数	160,000人	139,436人	道の駅しかおい、うりまく入込数
施策と指標の関連性	町内特産品を町外へ積極的に発信することなどにより増加させる、道の駅しかおい、うりまくの入込数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	500	500	0	150,000	154,133	Y	103%	・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
2023	500	500	0	160,000	167,418	Y	105%	・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
物産振興を図るため観光協会（特産品部会）と連携した道の駅連携事業に取り組む。	・道の駅しかおい及びうりまくにおいて町内特産品の販売促進を進めるとともに、町外道の駅との相互連携事業を複数回実施する。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい 道の駅うりまく	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光協会 総会					相互 連携 事業		相互 連携 事業				

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	道の駅レジ通 貨数をもとに 入込数を算出	道の駅芝生広場でのキッチン カーイベントを開催し、町内や 近隣町からの観光客誘客に努め た。 入込数は目標値を達成したが、 連携事業については開催を見 送ったことにより評価をYとし た。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
感染症の状況を注視しながら道の駅の観光客増に努める。	感染症の状況を鑑みて、4年続けて事業を見送っていることから、実施回数、実施日程の変更を検討したい。	観光客の入込数を目標値・実績値としており問題ないことから2023年度と同様とする。

担当課・係		町民課 住民生活係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	防災意識の普及と防災体制の充実強化
	施策の概要	災害発生時における対応力の向上と町全体の防災体制の強化を図る。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	防災訓練等	10回	0回	行政区等を対象とした防災訓練等の回数
施策と指標の関連性 防災意識の普及のために実施する防災訓練等の回数を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	4,567	4,567	3,996	10	0	C	0%	・防災備品の整備 ・防災防火フェスティバル開催 ・北海道総合行政ネットワーク工事負担金 他
2021	268	1,753	1,753	10	5	B	50%	・防災備品の整備 ・「防災・防火フェスティバルinしかおい」の開催 ・防災講話や防災訓練の実施 ・避難所運営マニュアルの整備
2022	268	346	343	10	5	C	50%	・防災備蓄の整備 ・防災講話や防災訓練の実施
2023	268	367	237	10	4	C	40%	・防災備蓄の整備 ・防災講話や防災訓練の実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標	
具体的の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への防災に関する情報提供や防災訓練等を通じた意識啓発を図る。 	実施体制
具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ハザードブックや広報紙等を活用し、停電、断水、火災、風雪、水害、地震など自然災害等に対する防災意識の高揚に努める。 ・各関係機関と各種防災訓練等を実施し、災害時の被害を最小限に食い止めるよう、防災体制や災害時対応体制の充実強化に努める。 ・防災備品の計画的整備を図る。 ・避難所運営マニュアルを作成する。 	鹿追町防災会議・地域防災委員

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広報等周知	防災・防火フェスティバル	防災備品整備			広報等周知						

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	開催実績回数 防災フェス 1 防災委員研修 1 防災講話等 2	当初の計画に加えて「防災・防火フェスティバルinしかおい」において地域防災委員研修を行い、広く防災意識の普及を図ることができた。 防災訓練等の回数が指標であるため、達成率4割としてCとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
各学校・団体等における自助・共助の重要性等についての一般的な防災意識の高揚と個別避難計画及び地区防災計画の策定に向けた地区協議等により防災体制の充実強化（ソフト面）を図る。	個別避難計画の策定を要する対象者を選定し、その地区から協議等を開始し、合わせて地区防災計画の策定に向けて順次取り組む。	一般的な防災意識の普及に係る取り組みと防災体制の充実強化（ソフト面）に係る取り組みの目標値と実績値の合算により評価する。

担当課・係	町民課 住民生活係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	防災意識の普及と防災体制の充実強化
	施策の概要	災害発生時における対応力の向上と町全体の防災体制の強化を図る。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	避難所運営マニュアル等の更新	3事業 (累計)	0	感染症対策等に配慮した避難所運営マニュアル等の更新
施策と指標の関連性	防災体制の強化を目的に、避難所運営マニュアル等の内容を充実させる。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	1	1	A	100%	感染症対策等に配慮した避難所運営マニュアルの更新
2023	2,000	9,145	7,712	3	4	A	133%	ハザードブックの更新 防災備蓄食料の整備
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	事業	事業			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
感染症対策等に配慮した避難所運営マニュアルやハザードブックを更新する。	<ul style="list-style-type: none"> 避難所における衛生管理、男女のニーズの違い、感染症対策を盛り込んだ避難所運営マニュアルを作成することにより避難者の不安を和らげる効果が期待できる。 新たに洪水浸水想定区域に指定された中小河川に対応するようにハザードブックの内容を更新する。 	鹿追町	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		関係機関打合せ	素案作成開始				素案作成完了	関係機関確認		マニュアル完成	HP等周知

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	<ul style="list-style-type: none"> ハザードブックの更新 防災備蓄食料の整備 ニチコンパワーサーバー(V2L)の整備 	計画分の整備のほか、ニチコンパワーサーバー(V2L)の整備によりトヨタミライの電源を活用した機動的な電源供給が可能となり防災体制の強化が図られました。事業数による達成率100%以上であるため、Aとした。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
防災備蓄品の再検討と計画的な整備を進める。	防災備蓄食料の計画的な整備・更新のほか、個別避難計画・地区防災計画の策定に向けた協議等に合わせて防災備蓄品の品目・数量等の再検討を行う。	防災体制の維持・充実強化を図るための事業数・内容により評価する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国際姉妹都市との交流促進
	施策の概要	ストニブレイン町との交流を継続し、相互間で新たな事業を模索します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	受入れホスト家庭数	358戸	308戸	受入れホスト家庭数
施策と指標の関連性	往来を伴う交流が中心で、ホームステイによる交流の継続を目標としているため、受入れホスト家庭数を目標値としている。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	20,000	17,859	1,415	328	318	B	97%	・姉妹提携35周年事業の実施 ・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
2021	7,500	10,647	1,695	338	318	A	94%	・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
2022	7,500	1,882	1,931	348	318	C	91%	・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
2023	7,500	5,359	3,467	358	327	A	91%	・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	戸	戸			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
往来を伴う交流再開と往来を伴わない交流の実施	<ul style="list-style-type: none"> 短期留学生訪問団受入事業の再開 相互住民長期滞在事業の再開 オンラインによる交流の実施（語学教室） 国際交流センターの運営 	企画課 国際交流協議会	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相互 センター	相互 センター	センター	留学 相互 センター	相互 センター	相互 センター	相互 センター	センター 運営	センター 運営	センター 運営	センター 運営	センター 運営

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	派遣・受入の実績をデータで管理している。	目標値358との乖離は大きいものの、2023年度の実績は受入れホスト家庭9件の増加であり、指標の改善に大きく寄与した。4年ぶりの交流事業再開となったが、短期留学・相互住民長期滞在事業ともに、十分な成果を上げることができた。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
往来を伴う交流が再開されたため、ストニブレイン町側の担当者の負担も大きい新規のオンラインによる交流は取りやめ、従来の交流事業を円滑に推進していく。	特になし。	これまで通り、事業結果については国際交流協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国際姉妹都市との交流促進
	施策の概要	ストニブレイン町との交流を継続し、相互間で新たな事業を模索します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	国際交流事業に参加した鹿追町民の数	60人	60人	交流に関わる鹿追町民の数
施策と指標の関連性	往来を伴う交流が難しい中、各種オンライン交流や国際交流センターにおけるイベント等の実施を通じて国際交流に興味をもつ町民を増やしていくことが、今後の交流事業に重要なため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	7,500	1,882	1,931	60	220	B	366%	・オンラインを活用した交流の実施（料理教室、語学教室） ・国際交流センターにおける国際交流イベントの企画
2023	7,500	5,359	3,467	60	148	B	246%	・オンラインを活用した交流の実施（語学教室） ・国際交流センターにおける国際交流イベントの企画
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
国際交流に興味を持ち、交流事業に参加する町民を増やしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを活用した交流の実施（語学教室） ・国際交流センターにおける国際交流イベントの企画 	企画課 国際交流協議会	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成館イベント①	準備	準備	平成館イベント②	平成館イベント③	準備	準備	準備	オンライン事業	オンライン事業	オンライン事業	オンライン事業

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事業の参加者数	平成館における国際交流イベントについては、①合同イベントの実施、②世界の朝食、③モルック体験など実施ができた一方で、オンライン交流については、カナダ側の担当者とうまく連絡がつかず、進めることができなかった。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
ストニブレイン町側から希望をしていたオンラインを活用した語学教室については、カナダ側の担当者との連絡が難しいことや、既存の事業に影響を与えかねないため見直すこととし、国際交流センターにおける国際交流イベントを中心に実施する。	ストニブレイン町側から希望をしていたオンラインを活用した語学教室については、カナダ側の担当者との連絡が難しいことや、既存の事業に影響を与えかねないため見直すこととし、国際交流センターにおける国際交流イベントを中心に実施する。	これまで通り、事業結果については国際交流協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国内友好都市等との交流促進
	施策の概要	東京都台東区との特定分野での連携のほか新たな分野での連携を模索します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	国内姉妹提携都市数	1自治体	0	国内姉妹提携都市数
施策と指標の関連性	特定分野での連携のほか、新たな分野での連携を模索することが施策の具体的な内容であり、現在ゼロとなっている国内姉妹都市提携の締結によって、様々な交流が推進されていくものと考えため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	3,635	4,998	392	0	0	B	0%	・台東区との連携協定終了後に向けた新たな連携の検討 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2021	3,635	3,310	981	0	0	Y	0%	・台東区との新たな協定下における交流事業の推進 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2022	3,635	3,219	3,019	0	0	Y	0%	・台東区との新たな協定下における交流事業の推進 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2023	3,635	4,541	3,379	1	0	Y	0%	・台東区との新たな協定下における交流事業の推進 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2024								
2025								
2026								
2027								

4年見直し

評価総括表

単位 千円 千円 千円 自治体 自治体

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標											
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制									
	台東区との特定分野における連携協定に基づく事業の実施 台東区・墨田区と十勝地域の連携事業以降の検討	・児童派遣事業の実施 ・ふるさと交流ショップへの出店 ・その他各種交流事業の実施 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業以降の検討	企画課 国内交流推進協議会									
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				児童派遣事業	交流ショップ			環境フェスタ		墨田区連携		
Check	「Do」の結果・チェックなど											
	結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）								
	Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	姉妹都市提携の有無	姉妹都市提携には至っていないが、児童派遣事業の再開、ふるさと交流ショップ、環境フェスタ、ふるさとPRフェスタへの出店など各種事業が展開できている。								
Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など											

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2024年度末で連携都市の協定期限を迎えるため、2025年度以降の友好関係の在り方を検討していかなければならない。また、年々、酷暑化する中で、児童派遣事業の時期も検討が必要である。	2024年度末で連携都市の協定期限を迎えるため、2025年度以降の友好関係の在り方を検討していかなければならない。また、年々、酷暑化する中で、児童派遣事業の時期も検討が必要である。	これまで通り、事業結果については国内交流推進協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国内友好都市等との交流促進
	施策の概要	東京都台東区との特定分野での連携のほか新たな分野での連携を模索します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	民間団体等との連携事業	3事業	2事業	台東区内の民間団体等との連携事業
施策と指標の関連性	自治体どうしの交流から民間企業等どうしの交流に波及させることが重要であり、まずは鹿追町－台東区内の民間団体等の交流を実施していくことが、民間団体等どうしの交流につながっていくと考えるため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標	内容
				目標値	実績値	自己評価	達成率	
2022	3,635	3,219	3,019	2	2	A	100%	<ul style="list-style-type: none"> 台東区勤労者サービスセンターとの交流事業の実施 千束通商店街との連携事業の実施
2023	3,635	4,541	3,379	3	3	A	100%	<ul style="list-style-type: none"> 台東区勤労者サービスセンターとの交流事業の実施 千束通商店街との連携事業の実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	事業	事業			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
台東区内の民間団体等との連携を模索していく	<ul style="list-style-type: none"> 台東区勤労者サービスセンターとの交流事業の実施 千束通商店街との連携事業の実施 	企画課 国内交流推進協議会	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		勤労者サービスセンター		千束通商店街連携							

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事業実施数	計画したとおり、台東区勤労者サービスセンターとの連携事業、千束通商店街との連携事業を想定通り実施することができ、また、新たに墨田区における交流事業を1つ実施することができた。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
今後も継続して実施していくとともに、段階的に民間事業者どうしの連携になるように支援していく。	今後も継続して実施していくとともに、段階的に民間事業者どうしの連携になるように支援していく。	これまで通り、事業結果については国内交流推進協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係	企画課企画係
-------	--------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	町民の町政参加機会の拡充
	施策の概要	各種審議会委員などを公募や無作為抽出などの手法により選出し、町民誰もが町政に参画しやすい環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	無作為抽出による会議などへの参加件数	5件	0件	各種審議会委員などの無作為抽出選出件数
施策と指標の関連性	町政に係る各種の事項を審議する委員会等に多くの町民が参加することは、町民の町政への参加の直接的な指標となると考えたため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	1	0	B	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
2021	0	0	0	2	1	C	50%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
2022	0	0	0	3	0	D	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
2023	0	0	0	5	2	C	40%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
各種審議会委員等の選出における公募や無作為抽出などの手法の積極的な検討	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認 	町長、副町長 各所属長 企画課（事務局）	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				条例周知実施状況確認			条例の周知					

Check	「Do」の結果・チェックなど			
結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)	
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	庁内各課への照会による。	これまで無作為抽出による会議参加が進まなかったが、昨年の振り返りのおり今年度においては総合計画策定においてモデル的に実施、その結果、1件の新たな取り組みも生まれた。	

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など		
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)	
これまでの方針を継続するとともに、2023年度に実施した総合計画の策定の際の方法をマニュアル的にまとめ周知することで各課への波及に努めたい。	これまでの方針を継続するとともに、2023年度に実施した総合計画の策定の際の方法をマニュアル的にまとめ周知することで各課への波及に努めたい。	チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。	

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	町民の町政参加機会の拡充
	施策の概要	各種審議会委員などを公募や無作為抽出などの手法により選出し、町民誰もが町政に参画しやすい環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	公募による会議などへの参加件数	3件 (毎年)	1件	公募による会議などへの参加件数
施策と指標の関連性	町政に係る各種の事項を審議する委員会等に多くの町民が参加することは、町民の町政への参加の直接的な指標となると考えたため			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	3	0	D	0%	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり基本条例の周知徹底 実施状況の確認
2023	0	0	0	3	4	A	133%	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり基本条例の周知徹底 実施状況の確認
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
	各種審議会委員等の選出における公募の積極的な検討	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり基本条例の周知徹底 実施状況の確認 	町長、副町長 各所属長 企画課（事務局）

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				条例周知実施状況確認			条例の周知					

Check	「Do」の結果・チェックなど			
結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)	
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	庁内各課への照会による。	これまで公募による会議参加が進まなかったが、2023年度においては4件の公募案件があったため。	

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など		
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)	
これまでの方針を継続するとともに、2023年度に実施した総合計画の策定の際の方法を無作為抽出とともにマニュアル的にまとめ周知することで各課への波及に努めたい。	これまでの方針を継続するとともに、2023年度に実施した総合計画の策定の際の方法を無作為抽出とともにマニュアル的にまとめ周知することで各課への波及に努めたい。	チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。	

担当課・係		企画課広報広聴係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	広報広聴活動の拡充
	施策の概要	毎月発行している広報しかおいやホームページなどによる情報発信のほか、SNSなどにより情報の発信・共有に努める。また、「やまびこメール」や「地域マネージャー制度」「ふれあいトーク」など誰もが参加し、まちづくりの意見交換ができる環境づくりに努める。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	ふれあいトークへの参加人数	300人	-	ふれあいトークへの参加人数
施策と指標の関連性	誰もがまちづくりのための意見交換ができる場である、ふれあいトークの参加人数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	20	2	150	63	B	42%	・ふれあいトークの参加人数
2021	0	5	3	200	20	D	10%	・ふれあいトークの参加人数
2022	0	20	6	250	56	D	22%	・ふれあいトークの参加人数
2023	0	20	2	300	46	D	15%	・ふれあいトークの参加人数
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標											
	具体的な方針	具体的な事業内容										実施体制
	ふれあいトークの周知	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、ホームページ、SNS、防災無線、地域マネージャーなどを通し周知を図る。 										町長、地域マネージャー、企画課広報広聴係
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知
Check	「Do」の結果・チェックなど											
	結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)								
	D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	ふれあいトークへの参加人数を計上	新型コロナウイルス感染症の影響が続き依然慎重な開催となっている。日程の都合で実施できないこともあったがカフェトーク1回、出前トーク2回開催している。								
Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など											

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
新型コロナウイルス感染症の影響から活動を制限していた行政区も再開が見込まれる。今後も慎重に開催を検討する。	新型コロナウイルス感染症の影響から活動を制限していた行政区も再開が見込まれる。今後も慎重に開催を検討する。	ふれあいトークの参加人数を実績値として計上する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		企画課広報広聴係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	広報広聴活動の拡充
	施策の概要	毎月発行している広報しかおひやホームページなどによる情報発信のほか、SNSなどにより情報の発信・共有に努める。また、「やまびこメール」や「地域マネージャー制度」「ふれあいトーク」など誰もが参加し、まちづくりの意見交換ができる環境づくりに努める。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	鹿追お知らせメール登録件数	1,500件	1,328件	メール、LINE、アプリの登録総件数
施策と指標の関連性 効果的、効率的な情報発信を行うために開始した、新たな情報発信ツール「鹿追お知らせメール」の利用者の登録件数を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	1,400	1,663	A	119%	メール、LINE、アプリの登録総件数
2023	0	0	0	1,500	1,933	A	129%	メール、LINE、アプリの登録総件数
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
	鹿追お知らせメール登録の周知	・広報誌、ホームページ、SNS、地域マネージャーなどを通し周知を図る。	企画課、各課、地域マネージャー

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
加入促進を適宜周知											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	鹿追お知らせメールの登録者数(メール・LINE・mishika)を計上	お知らせメールの利便性が利用者に浸透した点や、高齢者スマホ教室などにより広く周知を行ったことから目標値を上回ることができた。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
引き続き高齢者スマホ教室や広報誌などで周知活動を行う。	引き続き高齢者スマホ教室や広報誌などで周知活動を行う。	引き続きメール、LINE、アプリの総登録件数を実績値として計上する。

評価総括表

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		企画課広報広聴係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	住民自治組織の育成
	施策の概要	町内会のあり方や活性化のための研修会や講演会などを開催し、それぞれの地域が持つ特性や特色を生かして、地域の課題を地域みんなの力で解決できる組織の育成に努める。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	行政区支援事業への参加数	35件	24件	行政区支援事業への参加件数
施策と指標の関連性	地域の課題を地域で解決できるようになるために実施する、行政区支援事業への参加件数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	763	422	25	8	C	32%	・行政区支援事業への参加件数
2021	0	778	441	28	8	C	29%	・行政区支援事業への参加件数
2022	0	3,000	282	30	8	D	27%	・行政区支援事業への参加件数
2023	0	2,500	710	35	10	D	29%	・行政区支援事業への参加件数
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
町内会（地域のつながり）の大切さを啓発	・広報誌や行政区長会議などを通し啓発を図る。	企画課広報広聴係	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜啓発											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	地域のつながり活動助成事業を実施する行政区数を計上	新型コロナウイルス感染症の影響が続き活動を制限していた行政区もみられたが、2022年度よりも多い10行政区が活動を実施した。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2023年度から制度を改定し、申請条件などの見直しを行った。行政区活動の再開も相まって、2024年度は事業利用の増加を見込んでいる。	2023年度から制度を改定し、申請条件などの見直しを行った。行政区活動の再開も相まって、2024年度は事業利用の増加を見込んでいる。	これまで通り引き続き、地域のつながり活動助成事業の利用数を実績値として計上する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	企画課広報広聴係
-------	----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	住民自治組織の育成
	施策の概要	町内会のあり方や活性化のための研修会や講演会などを開催し、それぞれの地域が持つ特性や特色を生かして、地域の課題を地域みんなの力で解決できる組織の育成に努める。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	職員による出前講座の開催	20回	14回	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
施策と指標の関連性	地域の課題解決のために実施する、職員等による、役場の新規事業や防災・防犯についての出前講座や勉強会の開催回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	15	14	A	93%	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
2023	0	0	0	20	13	B	65%	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
つながり活動事業などを通し周知	広報誌、ホームページ、SNS、地域マネージャーなどを通し周知。	企画課 各課 地域マネージャーなど	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜周知											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	地域のつながり活動実績報告に基づき職員の出前講座等の実施回数を計上	依然として活動を縮小している行政区は多いが、活動を実施する行政区に対しては広く講座を開催することができた。

Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
今後各行政区の活動が活発化されることが考えられる。引き続き依頼のあった行政区に対して、出前講座を実施していく。	今後各行政区の活動が活発化されることが考えられる。引き続き依頼のあった行政区に対して、出前講座を実施していく。	これまで通り引き続き、地域のつながり活動実績報告に基づき職員の出前講座等の実施回数を計上する。

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	他市町村との情報共有など広域行政の連携強化
	施策の概要	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合などによる事業促進を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	十勝管内の観光入込み客数（延べ人数）	1,046万人	1,033万人	
	十勝管内バス乗客数	464万人	459万人	
施策と指標の関連性	十勝全体の広域的な取組みの中核をなす、定住自立圏共生ビジョンにおいて成果指標としているため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	797	1,039	968		1,026 451	B	98%	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2021	797	1,785	1,685		707 326	B	69%	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2022	797	1,709	1,611		711 328	B	69%	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2023	797	909	902	1,046 464	1,029 355	B	87%	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	万人	万人			

4年見直し

2023（R5）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2023年度の具体的な目標											
	具体的な方針	具体的な事業内容									実施体制	
	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合などによる事業促進	<ul style="list-style-type: none"> 十勝定住自立圏 十勝圏複合事務組合 とち航空宇宙産業基地誘致期成会 十勝圏活性化推進期成会 									町長、副町長 各所属長 企画課（事務局） 各団体	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進
Check	「Do」の結果・チェックなど											
	結果	評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）				
	B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			事務局（帯広市）による取りまとめによる。			コロナ禍において関係指標が落ち込み、2023度においては改善が見られたものの、特にバス乗客数については目標値との乖離が大きい。目標の8割以上の達成率ではあるが、バス乗客数の数値については76%であり、Bとした。				
Action	Checkを受け、2024年度以降に向けた必要な変更点など											

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
広域連携のため、本町が主体的に事業を実施するものではないが、本町にとって最大限の効果が得られるように引き続き参加していく。	広域連携のため、本町が主体的に事業を実施するものではないが、本町にとって最大限の効果が得られるように引き続き参加していく。	引き続き、十勝定住自立圏による成果指標の把握を行い、結果及び振り返り総括についてはその内容を踏まえて事務局の企画課において実施する。